

# 琵琶湖流域の 保全政策の決め方



## Q どんな環境問題の研究をしていますか？

主に琵琶湖流域を対象に研究を行っています。私に関心を寄せているのは琵琶湖の環境そのものではなく、琵琶湖流域の将来像について、「誰」が「どのように」決めるのかという事です。

また、将来像やそれに関する政策を決める際、個人における琵琶湖の評価を把握する必要があります。個々人の経験や知識、居住地などによって琵琶湖に対する評価は人によって大きく異なります。そのような評価の違いをどのように把握すればよいか、把握した意見をどのように政策につなげられるのかといった手法について研究を行っています。

## Q どんな環境問題の卒業研究を指導してきましたか？

特に決まった分野の研究ではなく、学生が興味のある分野に関心を寄せて様々なテーマを指導してきました。例としては「琵琶湖における外来魚対策事業の現状把握と事業の多角的評価に関する研究」や「アニメーションツーリズムの活発度に関する定量的評価」などです。

私自身は「政策」と「参加・連携」をキーワードに研究していますが、学生が関心のあるテーマや問題意識をこれらのキーワードと関連させて研究テーマを作ることができます。学生がやる気を持って興味のあることに真剣に取り組んでいる研究を支援しています。

## Q 学科への入学を検討されている方へ一言

自分の憶測や主観だけでなく、現場の状況や生の声をもとに地域の課題に対して自分自身の意見を述べるができる学生を歓迎します。この学科では、ある特定の分野だけでなく、自分の興味、関心のある様々な分野について深めることができます。環境政策・計画学科で自分のやりたいことを見つけませんか？



教員 平山奈央子先生

## Q 教員になってよかったと思ったことは？

卒業研究を通してゼミ生の成長を感じられたことです。特に、研究内容に関する議論が豊かになった学生がいました。そして、それが卒業後の進路につながっていることがうれしいです。

また、学生たちと議論をすることで自分自身に多くの学びがあります。

